

母子家庭の新たな道

ペットを通じ、元気で明るい人生への変容 2018年4月～

2年前に実母を亡くし、1年前に飼っていたワンちゃんを亡くした直後（4月）にいらっしやいました。Aさんはご両親に罪悪感があると言っていました。その時は特にフラワーエッセンスの処方はず、2度ほどエネルギー体を調整すると新しいワンちゃんを飼うことを決め、元気になられた様子。秋までは顔も見せなかったのも、Aさんは癒されているのだろうと忘れておりました。

次に会ったのは、新しく来たワンちゃんの”てんかん発作”の心配があるという医師の診立てに、飼い主のAさんはひどく心配の様子でした。**5レスキュー**を垂らして、先ずはお水を飲ませてみましょう。とお勧めすると「普段から水を減多に飲まないんです」と言われましたが、そのときワンちゃんが100mlくらい飲んだので、**5レスキュー**は合うかもしれないと二人で実感し、処方してみることにしました。

Aさんは寝る前には、お部屋を**5レスキュー**スプレーを作り散布もしています。

立冬も過ぎた頃『発作が落ち着いています！』と報告に來られました。その子の生命力に、二人で驚きました。飼い主のAさんが「私が癒されていないと、ワンちゃんも病気になりますよね？」と言われたので「そういうこともありますね。」とお返事しました。

その年末に、久しぶりのエネルギー体を調整した直後に「いろいろ動きました！」とシェアしにいらして、長い間、母子二人暮らしの息子さんは自立を申し出、Aさんはワンちゃんを通じ男性との新しい出会いがあったというのです。Aさんは生活を変化させるタイミングだと感じ**ウォルナット**を選ばれ、息子さんの自立への不安に、**ホームビーン**と**レッドチェスナット**を自ら選ばれました。

年が明け、再びエネルギー体を調整していたとき、Aさんはさらに深い複雑な問題を吐き出し始めました。Aさんもですが、実母もAさんが5歳のとき離婚しており、母方のお祖父さんも離婚していることから家系の問題にも関係することがわかりました。お身体は盲腸、鬱、リウマチ、肝機能障害など疾患に悩まされてきました。弟さんは肝硬変から他界したこと。妹さんは甲状腺疾患を抱えていることなど、ご家族に関する病が伺えました。

新しい男性との出会いのお相手は、同じ体験を共有できる離婚されお子さんがいる方です。順風満帆にお話を伺えるかと思いきや、Aさんの問題は長い間付き合っている彼がいるということ、その彼は妻子のある方。息子さんを一人で育てる生活で、その男性は長いあいだ経済的支援もしてくださっていること。確かに経済力があり年の差もある方の方だったので、Aさんの5才で離婚した経験が父親像を無意識で求めていたのではないかと想像できます。独り立ちするお子さんはお付き合いしている女性との結婚を意識しての自立。昨年春、Aさんが言う『罪悪感』というキーワードがどこからくるのか、深く絡まった糸を吐き出すことができたのです。

初めは1年前に亡くなった母と一人にしている義父への思いだとおっしゃっていましたが、Aさん自身これまで様々な障害を抱えて、その都度乗り越えられていた深いエピソードを吐き出された今回、自分に嘘をつくことが一番の『罪悪感』ということに気づかれました。真の原因を吐き出しの後で、その日はぐっすり眠れたようです。

Aさんはお子さんには同じ過ちを起こしてほしくないと強く思っています。2、3日前に久しぶりにAさんは天使のカードを引くと「天使のサポートを受けるように」とのメッセージだったそうです。Aさんに人生の大きな分岐点の難局のために、もしかするとAさんは急を要しているかもしれないとふと気づき、翌日「フラワーエッセンスをご紹介したいので相談しませんか？」とお電話すると、すぐに立ち寄られフラワーエッセンスをご提案しました。

ウォルナットを服用してから、今まで経済とともにAさん親子を支えてくれた男性と、息子さんとの別れの時です。天使界とのつながりを強化してくれる**アンジェリカ**と、息子さんのためにも家族の繰り返すカルマを断ち切りたい。と強く望まれ**ジョシュアツリー**をご紹介し、二重三重の絡み合った重圧からくる『罪悪感』には、ご自身が一番ぴったりきた**パイン**の3種を処方しました。

Aさんは現在リウマチでした。「アロマテラピー事典」の著者パトリシア・デービスによれば、食事やストレスも関係しており「特に内面の状態では深い悲しみや激怒、憎悪を”おさえつけて”いる人々や、創造的な才能を發揮できないでいる人々に生じます。」と、書いています。今までのAさんに発症した症状もこのような状況に関係していたのでしょうか。中医学では、肝機能障害の主な原因は怒りが考えられます。自分に嘘をついてきたことに対する怒りは、自分の肉体を傷つけてきたのでしょうか。

現在はヨガや運動、ワンちゃんとの時間でリウマチの痛みも軽減されているようです。コレステロールのお薬も今は様子見。フラワーエッセンスやエネルギー体の調整から、Aさん家族の大きな分岐点を支え、新しく始まる希望に満ちた人生に変容していくためのサポートが目的となりました。

アンジェリカ、パイン、ジョシュアツリー服用後、変化を伺うと「心配していたことは起きずスムーズに彼と別れを受け入れたもらい、新しい彼の元に行くのが早まり3月中に行きます」ということです。息子さんは引っ越し、**レッドチェスナット、ホームビーン**は続けていらっしゃいます。

フラワーエッセンスがご自身の大きな分岐点を支えてくれた体験に、初めてセッションすることを決断され、幼少期から重たく暗い、人の分まで背負ってしまいがちな人生から、元気で明るい本来の人生を取り戻すための処方スタートしました。私は大きな1歩が踏み出せたAさんを祝福しました。

4月に入籍するAさん

罪悪感は消えてきましたが、新天地への不安もあります。準備に熱中するあまり緊張を抱えてしまいます。様々な別れに過呼吸を起こすほど泣いてしまうとも言いました。**スターオブベツレヘム・ウォルナット・セントリー・ゲンチアナ・ミムラス・バーベイン・ジョシュアツリー・アンジェリカ・イエルバサンタ**を、心に負担となっている様々な別れと分岐点に処方しました。

今回のAさんの問題にはセラピストとして今回は感情移入しがちでした。**アグリモニー、タンジー、ブリーディングハート**をお話を聞いた直後取りました。するとAさんの人生の変容をサポートしていく強い意志が自分の中に現れました。私が早い決断を迫られたのは、Aさんの大きな決断に対し時間的な猶予がなかったこともありましたし、Aさんのお相手には家族がいます。

実は私の祖父にも他所に女性がいて子供もいたそうです。Aさんのお相手のご家族の立場が私の祖母や父に当てはまるので、今回は双方の理解をする体験でもあって感情移入してしまったと言えます。セラピストの立場では中立でどちらも平等に捉える必要がありました。肉体だけではなく、心のキャパシティーを超えるとき動揺がある自分に気づきがあります。だからこそAさんの人生のためにできることは、私にとって次のステップだと思いました。このように私自身の心のキャパシティーを超えることは、フラワーエッセンス療法を提供する私の何年かに一度やってきますが、すべての人に平等に与えられた変容のチャンス。セラピストの役割はただ目の前の方に寄り添うだけなのだと、深く刻まれました。この機会を与えてくださったAさんとワンちゃんに深く感謝しています。

ことほぎの響き

岩崎恵美